

平成26年土佐清水市議会定例会1月会議会議録

第1日（平成26年 1月21日 火曜日）

～～～～・～～～～・～～～～

議事日程

- 日程第1 会期の決定
- 日程第2 審議期間の決定
- 日程第3 会議録署名議員の指名
- 日程第4 議員派遣について

～～～～・～～～～・～～～～

本日の会議に付した事件

日程第1から日程第4まで

～～～～・～～～～・～～～～

議員定数 14人

現在員数 14人

～～～～・～～～～・～～～～

出席議員 14人

| | | | |
|------|-----------|------|-----------|
| 1 番 | 矢野川 周 平 君 | 2 番 | 森 一 美 君 |
| 3 番 | 小 川 豊 治 君 | 4 番 | 西 原 強 志 君 |
| 5 番 | 永 野 裕 夫 君 | 6 番 | 岡 林 喜 男 君 |
| 7 番 | 永 野 修 君 | 8 番 | 岡 崎 宣 男 君 |
| 9 番 | 瀧 澤 満 君 | 10 番 | 岡 林 守 正 君 |
| 11 番 | 仲 田 強 君 | 12 番 | 井 村 敏 雄 君 |
| 13 番 | 橋 本 敏 男 君 | 14 番 | 武 藤 清 君 |

～～～～・～～～～・～～～～

欠席議員

な し

～～～～・～～～～・～～～～

事務局職員出席者

| | | | |
|-------------|---------|---------|--------|
| 議 会 事 務 局 長 | 岡崎 光正 君 | 局 長 補 佐 | 東 博之 君 |
| 議 事 係 長 | 池 正澄 君 | 主 幹 | 稲田 誠 君 |
| 主 事 | 金子 亜由 君 | | |

～～～～・～～～～・～～～～

出席要求による出席者

| | | | |
|----------------------------|---------|------------------------------|---------|
| 市 長 | 泥谷 光信 君 | 会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長 | 黒原 一寿 君 |
| 税 務 課 長 兼 固 定 資 産 評 価 員 | 浦中 伸二 君 | 企 画 財 政 課 長 | 早川 聡 君 |
| 総 務 課 長 | 山崎 俊二 君 | 危 機 管 理 課 長 | 横畠 浩治 君 |
| 消 防 長 | 濱田 益夫 君 | 消 防 署 長 | 西田 和啓 君 |
| 健 康 推 進 課 長 | 山下 毅 君 | 福 祉 事 務 所 長 | 二宮 真弓 君 |
| 市 民 課 長 | 岡田 敦浩 君 | 環 境 課 長 兼 清 掃 管 理 事 務 所 長 | 坂本 和也 君 |
| まちづくり対策課長 | 木下 司 君 | 産 業 振 興 課 長 | 磯脇 堂三 君 |
| 産 業 基 盤 課 長 | 文野 喜文 君 | 水 道 課 長 | 田村 和彦 君 |
| じ ん け ん 課 長 | 中山 直喜 君 | し お さ い 園 長 | 中島 東洋 君 |
| 収 納 推 進 課 長 | 横山 周次 君 | 教 育 委 員 長 | 福重百合架 君 |
| 教 育 長 | 弘田 浩三 君 | 学 校 教 育 課 長 | 山本 豊 君 |
| 生 涯 学 習 課 長 | 山下 博道 君 | 教育センター所長 兼少年補導センター 所 長 | 武政 聖 君 |
| 選 挙 管 理 員 会 事 務 局 長 | 徳井 直之 君 | 監査委員事務局長 | 中山 優 君 |

~~~~・~~~~・~~~~

午前１０時００分 開 会

○議長（岡林守正君） 皆さん、おはようございます。定刻でございます。

ただ今から、平成２６年土佐清水市議会定例会１月会議を開会いたします。

この際、暫時休憩いたします。

午前１０時０１分 休 憩

午前１０時４０分 再 開

○議長（岡林守正君） 休憩前に続いて会議を開きます。

土佐清水市議会は、昨年の９月定例会において土佐清水市議会基本条例の一部を改正し、本日招集されました本会議より、通年議会がスタートいたします。

通年議会の導入により、災害などの突発的な事件や住民からの請願など緊急の行政課題についても、議長が速やかに本会議を開催することで、迅速な対応をすることができます。

今後においても、議会の意思決定機関並びに監視機関としての役割を発揮すべく、決意を新たにしているところでありますので、議員並びに執行部のご協力をお願いいたします。

日程第１、「会期の決定」を議題といたします。

平成２６年土佐清水市議会定例会の会期につきましては、議会運営委員会でご審議を願っておりますので、この際、議会運営委員会委員長の報告を求めます。

議会運営委員会委員長 仲田 強君。

（議会運営委員会委員長 仲田 強君登壇）

○議会運営委員会委員長（仲田 強君） ただ今、議題となっております平成２６年土佐清水市議会定例会の会期並びに１月会議の審議期間については、１月９日開催の議会運営委員会において審議いたしましたので、その結果についてご報告いたします。

本定例会の会期につきましては、本年は市議会議員の任期満了の年でありますので、土佐清水市議会基本条例第６条第１項ただし書きの規定により、本日から任期満了日の９月６日までの２２９日間とし、１月会議の審議期間については、本日１日間と決しました。

以上で、審査結果の報告を終わります。

○議長（岡林守正君） お諮りいたします。

本定例会の会期は、議会運営委員会委員長の報告のとおり、本日から９月６日までの２２９日間といたしたいと思います。

これにご異議の方はございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（岡林守正君） ご異議なしと認めます。

よって会期は、本日から９月６日までの２２９日間と決しました。

日程第２、「審議期間の決定」を議題といたします。

お諮りいたします。

１月会議の審議期間につきましては、先ほどの議会運営委員会委員長の報告のとおり、本日１日間といたしたいと思います。

これにご異議の方はございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（岡林守正君） ご異議なしと認めます。

よって、１月会議の審議期間は、本日１日間と決しました。

日程第３、「会議録署名議員の指名」を行います。

1月会議の会議録署名議員は、会議規則第88条の規定により、14番武藤 清君、1番矢野川周平君を指名いたします。

次に、市長より発言の申し出がありますので、これを許します。

市長。

(市長 泥谷光信君登壇)

○市長（泥谷光信君） 皆様、新年あけましておめでとうございます。本年もどうかよろしくお願い申し上げます。

本日は、平成26年土佐清水市議会定例会を招集申し上げましたところ、議員各位におかれましては何かとご多用の中、ご出席を賜り開会の運びとなりましたことを心から御礼申し上げます。

それでは、定例会1月会議の開催に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

このたびの土佐清水市議会基本条例に基づく通年議会の開会は、土佐清水市にとりまして新たな一步を踏み出したこととなります。

先ほど、議長からもご挨拶がございましたが、通年議会の導入により、議員間の活発な討議や議会からの条例等の政策立案、さらには積極的な政策提言の機会が確保できるほか、大きな災害などの突発的な事態が発生した場合にも、本会議の早期開催また、必要とされる補正予算などが議会で速やかに審議されることができることになりました。

今後、この条例の趣旨にしたがって、具体的な運用を通じ、議会及び執行部がともに切磋琢磨しながら、市民福祉の向上に向けて、鋭意取り組まなければならないと心を新たにしているところでございます。

さて、年末年始の休暇は、9日間という長いものでありましたが、新年早々の1月3日には、成人式が行われ、会場の市民文化会館には、今年も新成人を迎えた134人が集い、大人の仲間入りといった気負いよりも、久しぶりの故郷で友人たちとの再会を楽しむ笑い声が響いておりました。

式典では、心を込めて成人を祝うとともに、ふるさと土佐清水市との絆を大切に、ふるさと土佐清水市に抱く誇りと愛着をみずからの人生のエネルギーに変えてもらいたいと、大きなエールを送ったところであります。

続いて、1月5日、消防業務の発展と消防関係者の士気高揚を図り、より一層の強固な組織づくりを目指して、平成26年土佐清水市消防出初め式が挙行されました。2年に一度の出初め式には、消防署員、消防団及び女性防火クラブの皆さんが一堂に会し、人員や装備の総点検と市民への防火思想の普及をアピールいたしました。

また、昨年の高知県消防団員操法大会において、上位に入った貝ノ川部による小型ポンプ操

法の披露や消防車による市中パレードなども行われ、多くの市民の皆様から、大きな歓声が上がっていましたが、力強く規律ある行進を拝見し、まことに心強く、そして頼もしく感じたところであります。

次に、税の還付加算金についてでございます。

平成25年12月19日付の高知新聞で、香南市、香美市両市が支払うべき還付加算金の未払いがあるとの報道がありました。これは市県民税の税額決定以降に所得の変更があった場合、還付加算金を別の短い基準の起算日で計算し、その結果、還付加算金が未払いとなっているものであります。

この報道を受け、本市でも確認作業を行った結果、同様の未払いがあることが判明いたしました。このことにつきましては、その対応を含め、1月16日開催の総務文教常任委員会で報告をしたとおりでございますが、改めて市民の皆様には深くおわびを申し上げます。

続きまして、ふるさと納税についてご報告いたします。

本市出身の株式会社日本トリム、代表取締役社長、森澤紳勝様から、330万円のご寄附がありました。このご寄附を含め、本年度12月末までに122件、38人の皆様から計450万5,000円の尊いふるさと納税をいただいております。まことにありがとうございました。

おかげさまで、平成25年度につきましては、年度途中でありながら、ふるさと納税制度ができた平成20年度以降、最高の寄附金額となっており、この場をお借りいたしまして厚くお礼を申し上げます。

また、ふるさと納税「土佐清水市ふるさと元気寄附金」につきましては、フェイスブックを通じてつながったメンバーが、土佐清水ネイチャー&セーフティキーパーズを結成し、何か土佐清水市のためにできることはないかと考え、フェイスブックでふるさとを積極的に紹介するとともに、同志を集めていただき、任意で毎月1,000円を寄附していく、そういう地道な活動も始まっております。本当にありがたく、ふるさと土佐清水市を愛する皆様からのご厚意は、その目的に沿って大切に活用させていただきます。

次に、寄附のご報告をもう1件いたします。

四万十カントリークラブ様から、防災支援チャリティーコンペで集まった15万2,712円のご寄附をいただきました。このチャリティーコンペでは、12月の1カ月で延べ744人の皆様にご協力、ご支援をいただきました。まことにありがとうございました。ご寄附いただきました支援金につきましては、ご要望のとおり、小中学校の防災教育に役立たせていただきます。

最後になりますが、ご承知のとおり、本年は土佐清水市制施行60周年に当たります。この

記念の年に、記憶に残る事業を実施したいと考えておりますので、議員の皆様をはじめ、市民の皆様にはご理解とご協力をお願いし、あわせて本年が土佐清水市にとりまして、大きく飛躍の年となることを心からご祈念いたしまして、平成26年市議会定例会開会に際してのご挨拶とさせていただきます。

○議長（岡林守正君） この際、暫時休憩いたします。

午前10時52分 休 憩

午前11時16分 再 開

○議長（岡林守正君） 休憩前に続いて会議を開きます。

ただ今、市長から、同意案第1号「副市長の選任について」の議案が提出されました。

お諮りいたします。

この際、同意案第1号を日程に追加し、議題といたしたいと思います。

これにご異議の方はございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（岡林守正君） ご異議なしと認めます。

よって、同意案第1号を日程に追加し、議題とすることに決しました。

同意案第1号を議題といたします。

職員に議案の朗読をいたさせます。

（議案朗読）

○議長（岡林守正君） 朗読は終わりました。

この際、提出者に提案理由の説明を求めます。

市長。

（市長 泥谷光信君登壇）

○市長（泥谷光信君） ただ今、ご提案いたしました同意案第1号につきまして、提案理由の説明を申し上げます。

前副市長退職以来、6カ月以上にわたり副市長が不在となっており、市政執行上、多くの問題が出てきております。

つきましては、副市長に磯脇堂三氏を選任したいと考え、ご提案申し上げる次第であります。

磯脇氏は、昭和59年、市職員として採用以来、総務課長、産業基盤課長を歴任し、平成25年1月より産業振興課長として、市政発展のため尽力いただいております。同氏の豊富な行政経験、人格、識見から、本市副市長に最適任と考え、ご提案申し上げる次第であります。どうかご同意賜りますようお願いを申し上げまして、提案理由の説明といたします。

○議長（岡林守正君） 提案理由の説明は終わりました。

ただ今から質疑に入ります。

同意案第1号について、質疑の方はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（岡林守正君） 質疑なしと認めます。

質疑を終わります。

同意案第1号については、会議規則第37条第3項の規定により、委員会付託を省略いたしたいと思います。

これにご異議の方はございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（岡林守正君） ご異議なしと認めます。

よって、同意案第1号については、委員会付託を省略することに決しました。

同意案第1号の委員会付託を省略いたします。

ただ今から討論に入ります。

討論の方はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○議長（岡林守正君） 討論なしと認めます。

討論を終わります。

ただ今から採決いたします。

同意案第1号「副市長の選任について」を採決いたします。

同意案第1号「副市長の選任について」同意の方はご起立を願います。

（賛成者起立）

○議長（岡林守正君） 起立全員であります。

よって、同意案第1号は同意されました。

この際、副市長に選任されました磯脇堂三君の挨拶を許します。

磯脇堂三君。

（新副市長 磯脇堂三君登壇）

○新副市長（磯脇堂三君） 議長よりお許しをいただきましたので、一言ご挨拶申し上げます。

ただ今、議員各位によりご同意をいただきました副市長を拝命することになりました磯脇堂三でございます。

今回の副市長の選任に当たりましては、ご案内のとおり、今までにない経過の中で、私が選任されたことに対し、責任の重大さをより一層痛感しているとともに、私のような浅学菲才の若輩者でよいのか、大変不安を感じているところでございます。本市の現在おかれている状況

は、少子高齢化社会の進展に伴う人口減、一次産業の衰退、観光客の減少など、大変厳しい社会情勢でございます。このような厳しい状況の中ではありますが、市民の皆様が安心して暮らしていける社会づくりに、泥谷市長が公約として挙げる事項の実現に向け、市長の補佐役として、また庁内の調整役として微力ではありますが、職員が一丸となって取り組んでいけるよう努めてまいります。

そのためには、市民の皆様のご理解をはじめ、議員各位のご協力を心からお願いいたしまして、言葉足りませんが、決意とお礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

○議長（岡林守正君） 日程第４、議員派遣についてを議題といたします。

お諮りいたします。

地方自治法１００条第１３項及び土佐清水市議会会議規則第１６７条の規定に基づき、次回会議開催までの休会中において、緊急に議員派遣を行う必要が生じた場合、その日時、場所、目的及び派遣議員名等の諸手続きについて、議長にご一任願いたいと思います。

これにご異議の方はございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（岡林守正君） ご異議なしと認めます。

よって次回会議開催までの休会中の議員派遣につきましては、必要に応じ、議長に一任することに決しました。

以上で、本日の日程は終了いたしました。

本日の会議はこれで散会いたします。ありがとうございました。

午前１１時２４分 散 会



地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

土佐清水市議会 議長

副議長

署名議員

署名議員